

**No.191**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	「ひとこま」サブコーディネーターが見た大阪大学夏まつり …… 1	カレンダー	2023 年 8 月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
報告	みのおピースフェスタ 2023 参加報告 …… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
報告	「ケイン樹里安にふれる」トークイベント報告 …… 3	編集後記	編集後記 …… 8

**「ひとこま」サブコーディネーターが見た****2023 年 大阪大学 夏まつり**

去る 7 月 1 日（土）に、箕面市船場にある大阪大学箕面キャンパスで夏まつりが行われた。この夏まつりは今年で 42 回目で、大阪外国語大学の時代から続いているようだ。大雨の予報だったがそれほど雨も降らず、協会に割り当てられたこのキャンパスで 3 番目に広い教室（新箕キャンに 3 年通う「ひとこま（※）」サブコーディネーターの私調べ）には、人をかき分けて通らないといけなくらいたくさんの方が訪れた。

参加者は、南アジアで盛んにプレーされているボードゲームである「キャロム」をしたり、七夕が近いということで、短冊に願い事を書いて笹へ飾り付けたりした。「みんなの 1 日」のブースでは、自分の 1 日の過ごし方を自由に紙に書いたり、また他の人が書いたものも見たりして楽しんだ。パラリンピックの種目にもなっている球技である「ボッチャ」、ブラジルの伝統武術「カポエイラ」を体験することもできた。それらのうち 3 つのブースを体験することで、景品として手作

りのぼんぼりがもらえるスタンプラリーも行われ、用意していた景品がほとんどなくなるほど人気だった。また参加者は、手芸グループ「ファードス」でかわいい編みぐるみを購入したり、本誌「めろん」や「みのお外国人医療サポートネット」のブースで活動の様子についての情報を得たりしていた。

体験型のブースでは、子どもたちが馴染みのあるものないもの様々なものにふれて笑顔があふれていたのもので、この場所があってよかったなと私は思った。また「ひとこま」を通してつながった人たちが集合してブースが



ボードゲーム「キャロム」のようす

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp HP：www.mafga.or.jp

賛助会員数：284 名 法人会員数：26 団体（2023 年 7 月 18 日現在）

開かれ、私たちメンバーは今までの活動の成果を感じた。当日参加した関係者からは、この協会の 1 日出張所として、新たな参加者が協会とつながるきっかけとなったのではないかという意見が出た。

反省点は、入口からちらっと子どもたちでいっぱいなのを見て、入らずに出ていった大人たちが何人かいたことだろうか。どのブースも大人子ども関係なく楽しめるものだったので、彼らも一緒に遊んでつながれたらもっと良かった。

さらに、私が最も印象に残ったのはカポエイラだ。そこでは初めてカポエイラをやる子

たちと普段から習っている子が混じっていたのだが、初めての子の、見よう見まねで必ずしもお手本通りではないかもしれない動きに対して、習っている子や先生たちは、違うところを指摘するのではなく、柔軟に合わせていた。カポエイラでのひとこまのようにこれからの社会が、「これでもいいかも」ということに気がついて、そういう場所をつくっていく、「そうぞうりょく」が豊かなものであるといいなと思う。（大野まな）

※ひとこま：学生・若者が地域とつながる居場所として、毎週水・木曜に箕面キャンパス 3 階ピロティ部分で開かれている交流スペース。

核廃絶活動の若者たち-被爆国の若者の使命感 講演会「みのおピースフェスタ 2023『平和のボタン』 ～若者が語る核なき未来～」を聞く

ウクライナに侵攻し、核で威嚇する核大国のロシア。脅しているだけと思いたいが、混乱等による誤認も含め核のボタンが押されることは絶対無いとは言いきれない状況だ。一方、そのウクライナを支援しているのは同じく核大国の米国。1962 年、米ソが核戦争の寸前にまで至ったとされるキューバ危機以来の危うさを感じる。筆者は小学校 4 年の時終戦を迎えたが、それ以来、幸い日本は平和であった。しかし最近、核共有論議（※1）や過去最大の防衛費予算が飛び出すなど緊張が高まっている気がする。この 5 月には主要国首脳会議 G7 が広島で開催され、核問題が主要議題の一つであった。それに先立ち箕面では 5 月 4 日にみのおピースフェスタ 2023（※2）実行委員会主催、当協会などの後援で、講演会「平和のボタン-若者が語る核なき未来-」が開催された。この時期に若者は何を語るか知りたくて聴講した。少し遅れた報告になったが、「原爆の日」を前にこの講演会について報告する。

講師は高橋悠太さん。22 歳、広島県出身。中高時代に、被爆者などの話を聞き、核廃絶活動に身を投じて来た。核廃絶に絡む国際会議にも何度か参加している。今年慶応義塾大を卒業したが、就職はせず、核廃絶ネゴシエーターを自分の職

業にするという。G7 期間中、注意してテレビを見ていたら同じような若者を何人か見た。

先ず、核問題の現状を彼は語った。米ソを中心に核弾頭の数 は 7 万発にも膨れたが、冷戦終了後、削減条約等で削減された。しかし広島原爆の千倍以上の威力を持つものなどがまだ 1.3 万発残っている。そういう中、被爆者らの長年の核廃絶の叫びが世界に届き、2017 年 7 月、国連で核兵器禁止条約が採択された。この採択の原動力になったのは核兵器廃絶国際キャンペーン（略称：ICAN）という組織。世界各地の核廃絶活動団体の連合体である。この年のノーベル平和賞は ICAN に与えられ、授賞式では被爆者サーロー節子さんも演説をした。この条約は 2021 年 1 月、条約批准国が 50 か国を越し発効した（2023 年 3 月時点、批准 68 か国）。唯一の被爆国日本は米国の核の傘の関係で署名もしていないが、若者らは条約発効をこれまでの活動の成果として祝った。ところが 1 年後、ロシアがウクライナに侵攻し、核で脅したことで、一転、若者たちは無力感に襲われる。しかし 2022 年 6 月、核兵器禁止の第一回締約国会議（ウイーン）には、高橋さんら 4 名の大学生が、外務省から「ユース非核特使」のお墨付きをもらって参加し、演説をした（旅費は

自費〉。「ユース非核特使」は 2013 年、岸田外相の時に始まり、これまで約 600 名の若者が核廃絶活動で海外を訪問している。そのうちの約 3 割は高校生だ。

高橋さんは現在「カクワカ広島」（核政策を知りたい広島若者有権者の会、ICAN のパートナー）の共同代表を務める。様々なイベントとともに、政治家に会い、核政策についての考えを聞き取り、選挙時には、その彼らの考えを、有権者の意思決定の参考資料として公表している。政治家に核廃絶への理解を持ってもらう意味もあると彼は云う。

核の非人道性；膨大な一般市民の殺傷。生き残った人は健康被害、就職・結婚などでの差別に苦しむ。世界で行われた約 2000 回の原爆実験で多くの先住民、島民などが被ばく、長年健康被害に苦しんだ。また農地の核汚染で大規模な飢饉も起こりうる。これら全てが核の非人道性だと語った。

ジェンダーバランスの問題；世界の政治、外交分野全般、特に安全保障関係で男性が多い。ジェンダーバランスをもっと公平に、女性が多い形に変えることで、核廃絶でも新しい視点が出てくるはずと語った。放射線の悪影響は特に女性に大きく出るという。

核による抑止力；心理的な効果があったとしても絶対的なものではないと彼は言う。相手に核があれば、相手が報復できないように大々的な先制攻撃を仕掛ける可能性もある。話に出なかったが、最近の生成 AI などによる偽情報で誤認して核攻撃が起こらないかも知気になる。核兵器を無くさない限り、核の被害をゼロにできない。

お花畑；若者たちは「核兵器禁止はお花畑だ」と何度も揶揄され、悩んだ。その度に脳裏に浮かんだのは被爆者らの声。例えば、坪井直^{すなお}さん（2021 年没）の言葉「ネバーギブアップ。ただ、理性が大切。感情を投げつけるだけでは核廃絶は進まない。違う意見の人とも対話をしよう。同じ人類として手をつなごう」。こういう声に励まされてきたという。

高橋さんは最後に「被爆者らの叫びは重く、大きな力を持っていた。しかし、これから彼らの居ない時代に入る。我々若者が緊張感をもって、核廃絶のバトンを引き継ぎ、次の世代にツケを残さない

ように頑張りたい」と語った。

講演の後、彼らの活動の意義について考えたことを記しておきたい。

今後、時間が過ぎると共に世界の人々はヒロシマ・ナガサキを忘れて行く。忘れられないように日本は毎年、国連で核兵器廃絶決議案（拘束力無し）を提出している（全て賛成多数で採択）。それに加えて日本の若者が核保有国の若者に被爆の実情を知ってもらう活動が大変重要と思う。

核廃絶のためには核保有国が核廃絶に同意する必要がある。極めて難しいと思えるが、一度だけそれが実現した。1987 年、米ソの中距離核戦力全廃条約にレーガン大統領、ゴルバチョフ書記長が合意した。他の核兵器の全廃も話し合っていたという。「米ソどちらが勝つかでなく、人類が勝てるかどうかの話だ」。両者にはそう考える知性があったと同席した米国外交官は後に語っている。その後トランプ大統領がロシアが違反しているとして条約を破棄したが。世界の首脳陣もどんどん人が替わる。核廃絶をできるような知性の持ち主が現れることもあろう。そこに望みを託すためにも若者の活動の継続が重要である。若者たちの努力が実る日が来ることを祈りたい。（荻野）



※ 1：米国の核兵器を NATO の同盟国に配備し、共有するという考え。有事の際、共有した核兵器を使用するかどうかは米国、同盟国の協議で決める。「核の傘」より抑止力が高まると考えられた。昨年、日本でも検討すべきとの論議があった。

※ 2：みのおピースフェスタは、箕面市及び周辺の約 30 の団体、個人が集まって開く平和を願うお祭り。内容は多くは講演会である。十数年前から毎年数回開催されてきた。コロナのため休止していたが、今回は 3 年ぶりの開催という。

ZINE『ケイン樹里安にふれる 共に踏み出す「半歩」』 刊行トークイベントに参加して

2021年に協会のボランティアセミナーでも講師を務めた社会学者のケイン樹里安さんが、2022年5月に33歳の若さで急逝した。彼の追悼集というべきZINE(※)『ケイン樹里安にふれる』の刊行にあたり、発行人、執筆者も含め4人が集うトークイベントが、6月11日、コムカフェにて行われた。ホストはカツラ・シャハラ・バーヌさん、ゲストは日本語教師・作家の太田明日香さん、ライターのアヒミ・クバーナさん、Moving Beyond HateメンバーのW.J. ライアンさんである。差別やレイシズムの問題を学問の場でのみならず、マスコミやWeb上などでも社会に発信し続けたケインさん。彼に感化されて活動する登壇者たちの、熱のこもった発言に参加者たちも深く聞き入った。

バーヌさんは、「ハーフ」の呼称について研究していた学生の頃にケインさんと出会い、社会問題に関心を持つようになった。ZINEの編集・発行も務めている。日本人、外国人の二分法には、ミックスルーツの人がいないものにされ、無自覚の他者に足を踏まれる感覚があるという。また、女性は女性というだけで社会の中でしんどいことがあり、マジョリティの特権者としてだけではいけないという「交差性」の問題もゲストから提起された。

「マジョリティとは気にせずに済む人々」とケインさんは喝破した。その言葉により自らの「特権」に気づき、モヤモヤを抱いた太田さんは、マジョリティの立場から執筆したという。ケインさんが共同編著者である『ふれる社会学』を通じてケインさんと知り合ったアヒミさんは、彼が社会学を知らない人への架け橋として、わかりやすい言葉で届けるために本を作ったと語る。また、入管や差別の問題について活動を続けるライアンさんは、直接会ったことはないものの、著作やネットで知ったケインさんに強く背中を押されてきた。「当事者の安全を守りながら、いかに連帯できるか。その先を行くつもりで遺志を継ぎたい」。



登壇者の前には、それぞれコーラの瓶が置かれていた。唐揚げとコーラが燃料、というケインさんになんだもの。筆者はイベントに参加し、またZINEを読んで、ケインさんが、交流のあった人々からいかに敬愛されていたかがわかった。誰しもが彼に魅了され、彼への愛に溢れているのだ。自身も外国のルーツを持つ当事者として時に傷つけられながらも、鋭い言葉を紡ぎ続けた彼の死を心から悼み、悲嘆し、しかし、共生に向けて声を上げ続ける力を、今もケインさんから得ている。参加者からは、入管法の問題を心苦しく思い、改善に関心を持つが、どのように行動すればよいかという質問があった。関連の本を読む、応援するつもりでデモをそばで見ただけでも「半歩」を踏み出せている、と登壇者から助言があった。

バーヌさんはケインさんの存在は光だという。書き残されたものは多く、今も皆を鼓舞し続けている。(山下)

※ZINE: 個人または少人数の有志が、非営利で発行する自主的な出版物のこと。

ZINE『ケイン樹里安にふれる 共に踏み出す「半歩」』は協会にあります。
ご興味のある方は、お声かけください。

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	△	△	△	△	△	△

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です(□ 印)

■休診日: 月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】562-0023 箕面市栗生間谷西3丁目7-9シャトー野間1F 阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

●無料駐車場 有

072-730-0721

fairtrade shop & cafe

エスパーロ 能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

8 月
August

comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火・木～土

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 ランチ ¥950 * 売り切れ次第終了
14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日 * ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付)

おしらせ

MOOK 本完成!

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い! 1つのカフェ×6つのしょく〜食・触・職・色・織・ショック!」が刊行されました。この MOOK には、10 年以上に及ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられています。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読んでみてください。お買い求めを希望される方は、スタッフまで直接お問い合わせください。

ス… スナック & スウィーツの日 イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
	1 ファルザナさん 《バングラデシュ》	2 店休日	3 ス MAFGA スナック	4 ルーパさん 《インド》	5 トゥエットさん 《ベトナム》	6 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ~ 13:00
7 休館日	8 クラウディアさん 《メキシコ》	9 店休日	10 フランクリンさん 《キューバ》	11 ス MAFGA スナック	12 ス MAFGA スナック	13 ス MAFGA スナック
14 休館日	15 クラウディアさん 《メキシコ》	16 店休日	17 ポルマーさん 《モンゴル》	18 ス MAFGA スナック イ ひーふクラス 13:30 ~ 16:30	19 協会主催事業のため ランチはお休みです。 イ ひーふクラス 10:00 ~ 11:00	20 ス MAFGA スナック
21 休館日	22 ファルザナさん 《バングラデシュ》	23 店休日	24 ルーパさん 《インド》	25 洪さん 《コリア》	26 フランクリンさん 《キューバ》 イ Diversity Cafe 15:00 ~ 16:30	27 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
28 休館日	29 ノックさん 《タイ》	30 店休日	31 ス MAFGA スナック			

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafagachallengecafe



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。
URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

☎: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



イベント情報

特に記載がないものは、箕面市立多文化交流センター で開催します。

自習室

夏休みの自習室

7/23 (日)
~ 8/27 (日)
毎日 9:00-17:00

毎年、自習室として多文化交流センター 2 階の一部屋を開放しています。
涼しいお部屋で勉強できます。

対 象: 小学生~大学生
場 所: 多文化交流センター 2 階
(部屋は当日おたずねください)
参加費: 無料

トークイベント

語学短期講座 マリナさんと健康について話そう!

① 8/3 (木)
② 8/10 (木)
③ 8/24 (木)
13:30-15:00

健康とウェルネスについて、スロベニアの病院で看護士経験のあるマリナさんと英語で話しましょう! 初級~中級の英語学習者の参加を想定しています。
テーマは、①ストレスとの向き合い方 ②健康的なライフスタイルについて
③デジタルと健康についてです。
◎ 東堂マリナ (協会「国際理解のための語学講座」講師)

定 員: 各 15 名 (要申込み)
場 所: ミーティングルーム
受講料: 1,650 円 (各回)
申込み: QR コードから



スポーツ

ランチタイム! 阪大でポッチャしよう

毎月第二水曜日
8/9 (水)
11:30-13:00

パラリンピックでも話題になった 誰もが楽しめるヨーロッパ生まれのスポーツ、ポッチャをランチタイムに体験しませんか。
(学生・若者と地域がつながる居場所「ひとこま」企画)

場 所: 大阪大学箕面キャンパス
3F ビロディ
参加費: 無料 (申込み不要)
主 催: 箕面市国際交流協会
協 力: 大阪大学外国語学部 箕面東コミス

意見交換会

多文化交流センターの運営に関する意見交換会

8/10 (木)
10:30-12:00

センターへの理解を深めるための意見交換会。どなたでも参加できます。
内容: 1. 2023 年度施設利用者アンケートの結果報告
2. 2022 年度センター実施事業についての意見交換
3. 施設利用についての意見交換 ほか

対 象: どなたでも
定 員: 20 名 (要申込み)
場 所: 会議室
参加費: 無料

ワークショップ

ひーふクラブ チーズづくり/ヨーグルトづくりワークショップ

① 8/18 (金)
13:30-16:30
② 8/19 (土)
10:00-11:00

「ひーふ」とはモンゴル語で「つくる」。自分たちのまわりのものがどのようにできているのか「自分でつくる」ことを体験し、その理解につなげます。
今回は全 2 回の日程で牛乳からチーズとヨーグルトをつくります (試食・持ち帰り可能!)。全日程 (2 回) の参加を原則としますが、各回のみの参加を希望される場合は個別にご相談ください。当日、軍手をお持ちください。

対 象: どなたでも
定 員: 20 名 (申込み先着順)
場 所: comm cafe
参加費: 一般 2,500 円 (全 2 回)
小学生以下 1,000 円
会員 2,000 円



セミナー

Diversity Cafe 2023 ~多様性について考えよう~

8/26 (土)
15:00-16:30

箕面市内 ALT (外国語指導助手) をゲストスピーカーに招き、これまでの経験やバックグラウンドなどについて話を聞き、多様性について考えるひととき。
日本語の通訳がつきます。今回のテーマは「生理的貧困」について。
◎ エドムンズ ロイス (西小 ALT)

対 象: どなたでも
定 員: 40 名 (要申込み)
場 所: comm cafe
参加費: ワンオーダー制



唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で 40 年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才~ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

ビアガーデン

8/7 (月)
17:00-21:00

滝道せせらぎビアガーデン - 箕面地ビール Night-

滝道入口で「箕面ビール」が飲めるビアガーデンを初開催。箕面公園ライトアップとともに楽しめるビアガーデンです。一年熟成桃ヴァイツェン(700 円)、箕面ビール (600 円)、ソフトドリンク (200 円) などを販売。

場 所：特設会場 (箕面滝道 入口)
主 催：箕面滝道 本町会
申込み：不要
問合せ：072-724-5151 (箕面 FM まちそで)

リサイクル

8/13 (日)
15:00-17:15

第 39 回 唐木幸子バレエスタジオ プチ・リサイクル 「小品集」「クララの夢」

阪急箕面線・牧落駅前にある唐木幸子バレエスタジオの発表会です。
ゲスト出演：恵谷彰、今村泰典、水城卓哉

場 所：箕面市立文化芸術劇場大ホール
参加費：無料 (申込み不要)
※受付で記名ください
主 催：唐木幸子バレエスタジオ
申込み・問合せ：072-721-2576

大阪大学

毎月第三木曜日
8/17 (木)
19:00-20:00

マンズリー多文化サロン「中華料理の言語学」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。講座を通して、講師・市民の相互交流や多文化共生を目指します。今回は、「中華料理の言語学」を取り上げます。
◎中田聡美 (大阪大学 人文学研究科 外国学専攻 准教授)

場 所：大阪大学箕面キャンパス
1F 大講義室 または オンライン
参加費：無料
主 催：大阪大学外国語学部
申込み：8/4 (金) から HP、TEL で
問合せ：072-730-5013

ワークショップ

8/17 (木)
18:30-20:00

まなびカフェ「アートであそぼう」

多様な講師をお迎えするなどし、生きたまなびを皆さまと一緒に作る場。今回は、大人を対象に布と糸、クレパスを使ったアート体験を予定。
◎竹綱珠衣 (アーティスト)

場 所：らいとびあ 21
1F 展示コーナー
参加費：500 円 (材料費込み)
別途、ワンドリンク制
申込み：072-722-7400

コンサート

8/17 (木)
18:00 開場
18:30 開演

夏夜に響くチャリティコンサート 2023 in みのお

極度の貧困の中、その絶望の人生を生き抜くことから生まれたシューベルトの『ます』など、日々頑張っている私たちを応援する曲目を中心にお届けするアンサンブルコンサート。演奏者は Vn. 田島綾乃、Va. 吉田馨、Vc. 宮地晴彦、Cb. 渡戸由布子、Pf. 中井 由貴子。コンサートの収益金は「特定非営利活動法人ゆめ風基金」に寄付いたします。

場 所：箕面文化・交流センター
8F 大会議室
料 金：一般 3,000 円
大学生以下 1,000 円
主 催：みのおチャリティコンサート実行委員会
申込み・問合せ：050-5889-9783 (中井)

講演会

8/25 (金)
10:00-11:45

みのお中国文化に親しむ会 第 67 回講演会「ホテルの宝庫台湾」

箕面のホテル博士を講師に招き、「台湾のホテル」にスポットをあてて、その生息地や分布などを紹介します。後援：箕面市国際交流協会
◎石田達郎 (箕面ホテルを守る会・会長)

場 所：箕面市立中央生涯学習センター
2F 講義室
参加費：1,000 円 (大学生以下 500 円)
主 催：みのお中国文化に親しむ会
申込み・問合せ：072-722-6234 (市村)

交流イベント

8/26(土)27(日)
10:00-16:00

第 3 回外国人留学生エキスポ

外国人留学生の「悩みを希望に変える」「日本でより良い生活を送ってもらうキッカケ作り」がテーマの国際交流イベントを開催。日々の生活のサポート、日本文化を伝える団体が参加し「和菓子作り体験」や「魚の解体ショー」も開催予定！どなたでもご参加可能です。

場 所：マイドームおおさか 3F
主 催：外国人留学生エキスポ実行委員会
参加費：無料 (要申込み)
申込み：https://is-expo.jp/



講座

8/26 (土)
13:30-14:30

郷土資料館企画展関連講座「私の戦争体験」

9 月 13 日 (水) まで展開中の企画展「戦時生活資料展」の関連講座。次の世代へ記憶をつなぐことをテーマに、戦時中の体験と未来へのメッセージを語ります。
◎今村正一 (箕面市立小学校元教諭)

場 所：箕面市立郷土資料館
(箕面文化・交流センター B1F)
参加費：無料
申込み・問合せ：箕面市立郷土資料館
(072-723-2235)

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42～45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得
昭和 45～47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中！

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください！！編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。このテーマをもっと掘り下げてほしい！」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか？」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中！info@mafga.or.jpまでお寄せください。

編 集 後 記

一年間の平均降水量は 200 ～ 300mm 程度の乾燥地であるモンゴル出身の私は、この時季になると、食欲不振、不眠、頭痛といったからだの不調が続く。湿度が高いときは関節の痛み、腰痛、めまい、倦怠感も伴う。来日した 10 年前は「夏バテ」で済まないほど大変だったが、対策法を探りながら少しずつ良くなってきた。

その対策の一つとして、寝具をモンゴル産羊毛の布団に変えてみた。遊牧の暮らしをして羊の群れと共に成長した私は、一番身近で馴染みのある羊毛の力で身を守ることにした。羊毛の掛布団は 4 年前（2019 年）にモンゴルから持ってきたのだが、フェルトの敷布団はその後郵送してもらった。湿度の高い日本では、暑いときは湿気を発散し、寒いときは空気を溜め込み、調湿性が優れている「羊毛」こそが最適だと思った。羊毛は汗を吸ってくれるいっぽうで、放湿性も優れているため睡眠の質を高めてくれる。寝具を変えたことで腰痛と不眠が改善された。

暑さ対策グッズが次々と発売され、ついて行けない程の多種多様な商品がコンビニからデパートまでどの店でも並ぶ。そこで私は「自分にあるものを探し、あるものを活かす」と思いついたのは羊毛布団。つまり、羊についての知恵を活かし、羊毛の機能性を利用するのだ！よく知っていたはずなのに、困ってから初めて気づくこと。その気づきも大切にしたい……。

羊毛の機能性については販売店などで伺えるし、インターネット上でも情報がいっぱいあるので読者のみなさんに委ねる。

時とともに徐々に良くなっているが、湿度が高いときは、関節痛や頭痛が続いているので、夏は鎮痛剤を携帯している。朝と昼は頑張って食べているが、夜は何も食べられない夏が続いている。大変と言えば大変だが、焦らず自分と向き合いつつこのように一つ一つ対策を取りながら日本での生活を送っている。（バイサ）

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- （平日・土曜）黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- （日曜・祝日）緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、55、56 58、59、66	① 小野原
		② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西 5 丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR 茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグ、ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：（公財）箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

HP：www.mafga.or.jp FB：facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/